

# 第2の ピンクタイド をどう解釈するか

21世紀に入る頃、ラテンアメリカでは新自由主義やそれを主導する米国を批判する左派政権が次々と誕生しました。その多くは、冷戦期の共産主義のような堅固なイデオロギーに基づく左派（赤）ではなく、公正な分配や貧困問題に政策的に取り組む勢力だったため、薄い赤の潮流（ピンクタイド）と呼ばれました。この数年、ふたたび左派政権が相次いで成立し、第二のピンクタイドとして語られています。一方で、これらの政権は性格が異なるため一つの潮流としてみることを疑問視する意見もあります。本レクチャーシリーズでは、3つの左派政権に焦点を当て、成立の背景や政策を分析することで、この潮流の性格について考えます。皆様のご参加をお待ちしています。

## 司会・コメンテーター

岸川 毅（イベロアメリカ研究所 所員・上智大学総合グローバル学部 教授）

第1回 6月16日（金）「ブラジル」

舛方 周一郎（東京外国語大学 世界言語社会教育センター 講師）

第2回 6月23日（金）「アルゼンチン」

大場 樹精（イベロアメリカ研究所 準所員・上智大学 非常勤講師）

第3回 6月30日（金）「チリ」

浦部 浩之（獨協大学 国際教養学部言語文化学科 教授）

時間： 各回とも 17:30～19:00

開催方法： Zoom ミーティングによるオンライン開催

使用言語： 日本語

要事前申込： 一括のお申し込みはできません。

1回ごとに各 URL または右の QR コードからお申し込みください。

第1回 <https://eipro.jp/sophia/events/view/IB20230616>（締切：6月15日23時）

第2回 <https://eipro.jp/sophia/events/view/IB20230623>（締切：6月22日23時）

第3回 <https://eipro.jp/sophia/events/view/IB20230630>（締切：6月29日23時）

\*お申込みいただいた方々には、アクセスに必要な情報を各回の前日、前日にお申込みいただいた方々には当日朝にお知らせいたします

